

■アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より 1 年です。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ④本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、下記のフリーダイヤルへお問い合わせください。

エアクッションメーカー保証書

持込修理

型 名	ACY-30T		
無 料 修 理	本 体	お買い上げ年月日 年 月 日より1年間	
お 客 様	ご 芳 名 ご 住 所	様 〆 〒	
販 売 店	店 名 住 所	〆 ㊞	

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちに買い上げの販売店へお申し出ください。
●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう販売証明書と一緒に大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります、山善お客さまサービス係へご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の転倒、輸送、落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
(ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ホ) 消耗品の消耗、またはそれによる故障。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理(有料)などについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理(有料)、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書のアフターサービスについてをご覧ください。

●廃棄について
本製品を廃棄する場合には、お住まいの自治体で定められた方法に従ってください。

26-1

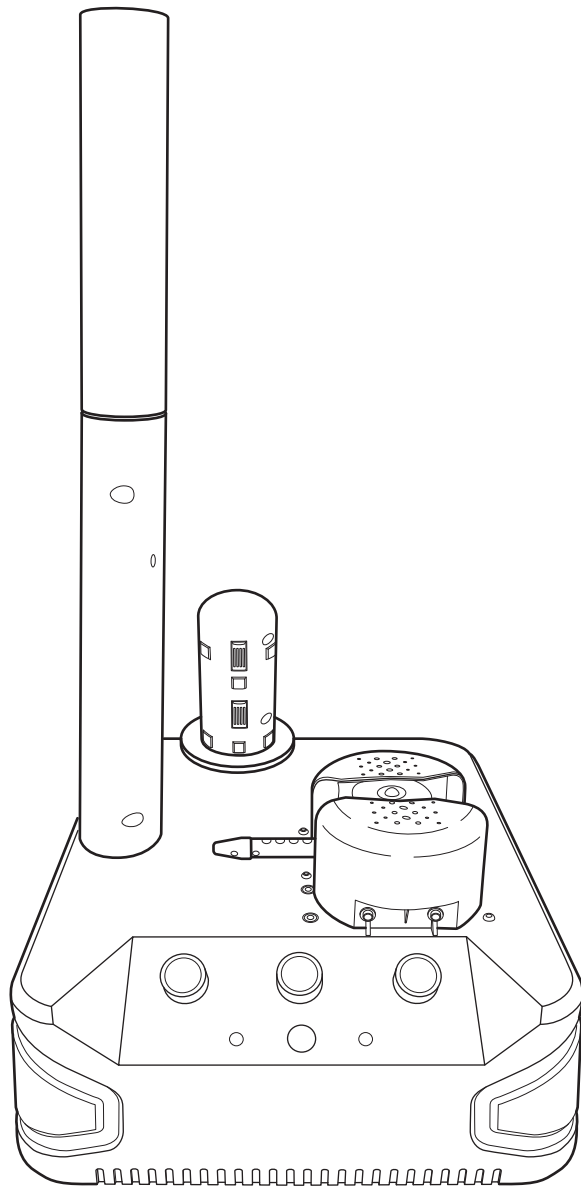


取扱説明書・保証書

このたびはお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
お読みになった後大切に保存し、必要なときにお役立てください。

家庭用

エアクッションメーカー
ACY-30T



もくじ

- 安全上のご注意・・・・・・・・ P.1～2
- 仕様・・・・・・・・ P.2
- 各部の名称・・・・・・・・ P.3
- ご使用前の準備・・・・・・・・ P.4
- 組立方法・・・・・・・・ P.4
- 使い方・・・・・・・・ P.5～7
- 分解方法・・・・・・・・ P.7
- 専用フィルムについて・・・・ P.8
- カッター刃の交換・・・・・・・・ P.8
- トラブルシューティング・・・・ P.9
- お手入れについて・・・・・・ P.9
- 修理を依頼される前に・・・・ P.10
- アフターサービスについて・裏表紙
- 製品保証書・・・・・・・・・・裏表紙

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

山善お客さまサービス係

フリーダイヤル
(株)山善 サービスセンター 〆〆 0120-55-6628
(クレオ工業株式会社) 受付時間／月～金曜日 9:00～17:00 まで営業
※土日祝祭日・年末年始・夏季休業を除く



■安全上のご注意

※ご使用前に、取扱説明書「安全上のご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告			
 禁止	交流100ボルト以外では使用しない	 指示に従う	ご使用の前に取扱説明書(本書)をよく読む
	●直流や交流 200ボルトで使用すると火災や感電の原因となります。		●破損・火災・感電・けがの原因となります。
	乳幼児の手の届く所では使わない		お手入れの際は安全のためプラグを抜く
	●けが・感電の原因となります。		●通電状態で行なうと感電の原因となります。
	製品のすき間などに金属類を差し込まない	 分解禁止	製品の組み立ては取扱説明書に従って確実にこなう
	●感電事故の原因となります。		●破損・火災・感電・けがの原因となります。
	水をかけたりしない		絶対に分解したり、修理・改造は行わない
	●感電・ショートの原因となります。		●火災・感電・落下の原因となります。
	電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを上に乗せたりしない	 水ぬれ禁止	浴室など水や湿気の多い場所や屋外で使用しない
	●ショート、火災、感電の原因となります。		●この製品は非防水ですので、火災・感電・破損の原因となります。
 接触禁止	本体の上に物を置かない	 接触禁止	加熱ローラーおよび加熱ローラーカバーに触れない
	●火災の原因となります。		●高温によりやけどをしたり、挟んでけがをするおそれがあります。
	熱に弱い数物の上や、燃えやすい物の近くで使用しない		本体や電源プラグを濡れた手でさわらない
	●火災の原因となります。	 プラグを抜く	●感電の原因となります。
	電源コードが破損した時は、ご自身で修理しない		煙が出たり、変なおいや音がするなど異常を感じた場合、直ちに使用をやめ、電源プラグを抜く
 プラグを抜く	加熱ローラー部にネクタイやネックレス、衣類等巻き込まれやすい物を近づけない	 プラグを抜く	●ショート・火災・感電の原因となります。異常状態が収まったことを確認し、販売店または電気店にご相談ください。
	加熱ローラー部に髪の毛を近づけない		●ショート・火災・感電の原因となります。異常がない事を確認し、販売店または電気店にご相談ください。
	高温多湿な場所、換気の悪い場所、ほこりの多い場所に置かない		●ショート・火災・感電の原因となります。
 プラグを抜く	エアクッションを梱包以外の用途に使用しない	 プラグを抜く	●窒息・けがのおそれがあります。
	●窒息・けがのおそれがあります。		

■修理を依頼される前に

製品の動作がおかしいときは下記を参考に点検をおこなってください。

処置をしても異常がある場合は、必ず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店か弊社お客さまサービス係までご連絡ください。

**警告**

分解したり修理をしない。

現 象	考えられる原因	処置方法
フィルムのノズル穴が入らない	フィルムの上下が逆になっている。	ノズル穴が下にくるようにフィルムをセットし直してください。
	フィルムのノズル穴が十分に開いていない。	ハサミでノズル穴部分をななめにカットし、指先でずらし、ノズル穴を十分に開いてください。
加熱ローラーが回転しない	加熱ローラーにフィルムや異物が挟まっている。	ストップボタンを押し、ローラーが冷えてから挟まっているフィルムや異物を取り除いてください。
	速度調整つまみが「0」になっている。	速度調整つまみをフィルムの推奨設定値 (P.6) に合わせてください。
	スタートボタンが確実に押されていない。	スタートボタンを確実に押し、ウォームアップ動作が完了するまでお待ちください。
フィルムがふくらまない	送風ノズルにフィルムが正しくセットされていない。	フィルムのノズル穴を正しく送風ノズルにセットしてください。(P.5)
	スタートボタンが確実に押されていない。	スタートボタンを確実に押し、ウォームアップ動作が完了するまでお待ちください。
フィルムが正常に進まない	フィルムが正しくセットされていない。	フィルムを正しくセットしてください。(P.5)
	カッター刃の切れ味が悪くなっている。	カッター刃を替刃に交換してください。(P.8)
	加熱ローラーにフィルムや異物が挟まっている。	ストップボタンを押し、ローラーが冷えてから挟まっているフィルムや異物を取り除いてください。
	ロールホルダー・ガイドシャフトが正しく取り付けられていない。	P.7「分解方法」に従ってロールホルダー・ガイドシャフトを取り外し、P.4「組立方法」を確認しながら確実に取り付けろ。
空気が出ない	風量調整つまみが「0」になっている。	風量調整つまみをフィルムの推奨設定値 (P.6) に合わせてください。
	送風ノズルに異物が付着している。	送風ノズルを清掃してください。
送風ノズルにフィルムが引っ掛かる	フィルムが加熱ローラーへ正しく送られていない。	P.9 トラブルシューティング「●送風ノズルにフィルムが引っ掛かった場合」をご参照ください。
	ウォームアップ動作をおこなっている。	ウォームアップ動作（約 1 分）が完了するまでお待ちください。
	電源プラグが AC100V コンセントに確実に差し込まれていない。	差し込み状態を確認し、不十分な場合は確実に差し込んでください。
スタートを押しても動作しない	ウォームアップ動作をおこなっている。	ウォームアップ動作（約 1 分）が完了するまでお待ちください。
	電源プラグが AC100V コンセントに確実に差し込まれていない。	差し込み状態を確認し、不十分な場合は確実に差し込んでください。
スタートを押しても動作しない	電源ヒューズが切れている。	電源ヒューズが切れている場合は交換してください。(125V 5A ガラス管ヒューズ)
	電源ヒューズが切れている。	電源ヒューズが切れている場合は交換してください。(125V 5A ガラス管ヒューズ)

■トラブルシューティング

●送風ノズルにフィルムが引っ掛かった場合

- ①ストップボタンを押して加熱ローラーを停止させる。
- ②引っ掛かったフィルムのガイドシャフト側のミシン目からフィルムを切り取る。
- ③「速度調整つまみ」を押し、引っ掛かったフィルムを送る。
- ④フィルムを加熱ローラーの先へ排出させる。

●フィルムが加熱ローラーに巻き付いて進まない場合

- ①ストップボタンを押して加熱ローラーを停止させ、加熱ローラーが冷めるまで待つ。
- ②巻き付いたフィルムのガイドシャフト側のミシン目からフィルムを切り取る。
- ③「速度調整つまみ」を押し、引っ掛かったフィルムを送る。
- ④フィルムを加熱ローラーの先へ排出させる。

●フィルムのノズル穴が開かない

- ①ノズル穴の状態を確認し、フィルムが上下逆になっていないか、ノズル穴の周辺に溶けた跡や変形がないか確認する。
 - ②ハサミでノズル穴部分をななめにカットし、指でずらしてノズル穴を十分に開く。
- ※ノズル穴周辺に溶けた跡や変形がある場合は、次のミシン目で切り離して1枚分廃棄する。

■お手入れについて

●加熱ローラー・送風ノズル保護カバー

使わない時は、「加熱ローラー・送風ノズル保護カバー」を掛け、ホコリが付かないように保護してください。



注意

・加熱ローラーが冷めていることを確認する
やけどや火災の原因となります。

●加熱ローラー・送風ノズルのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて、加熱ローラーが冷めてから、ホコリや異物を除去してください。

●本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を少しつけた布で拭いてから、乾拭きしてください。

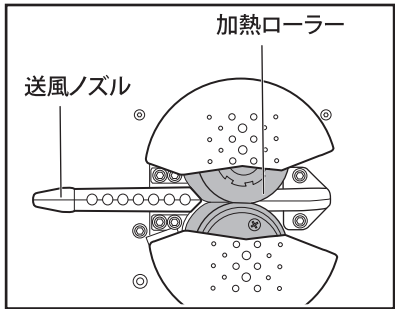
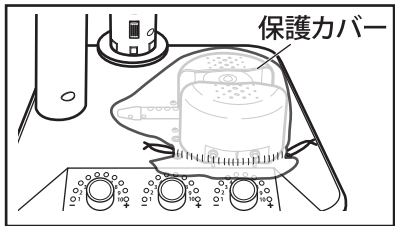
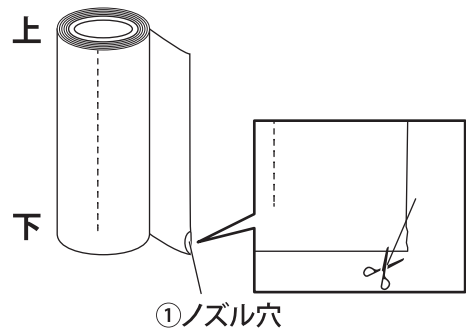
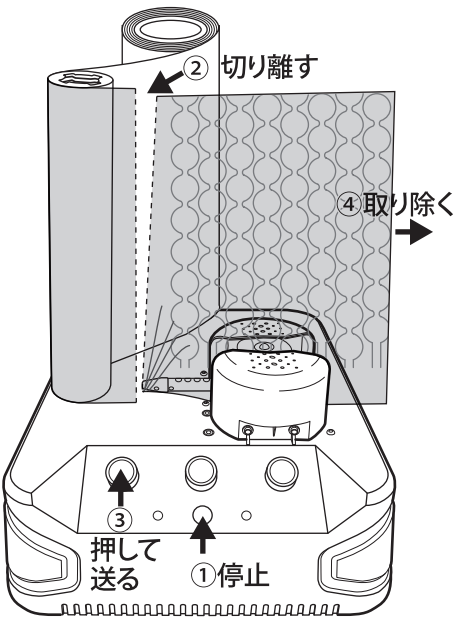


禁止

・シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しない
変色・変形の原因となります。

・本体に水をかけて洗わない 感電・故障の原因となります。



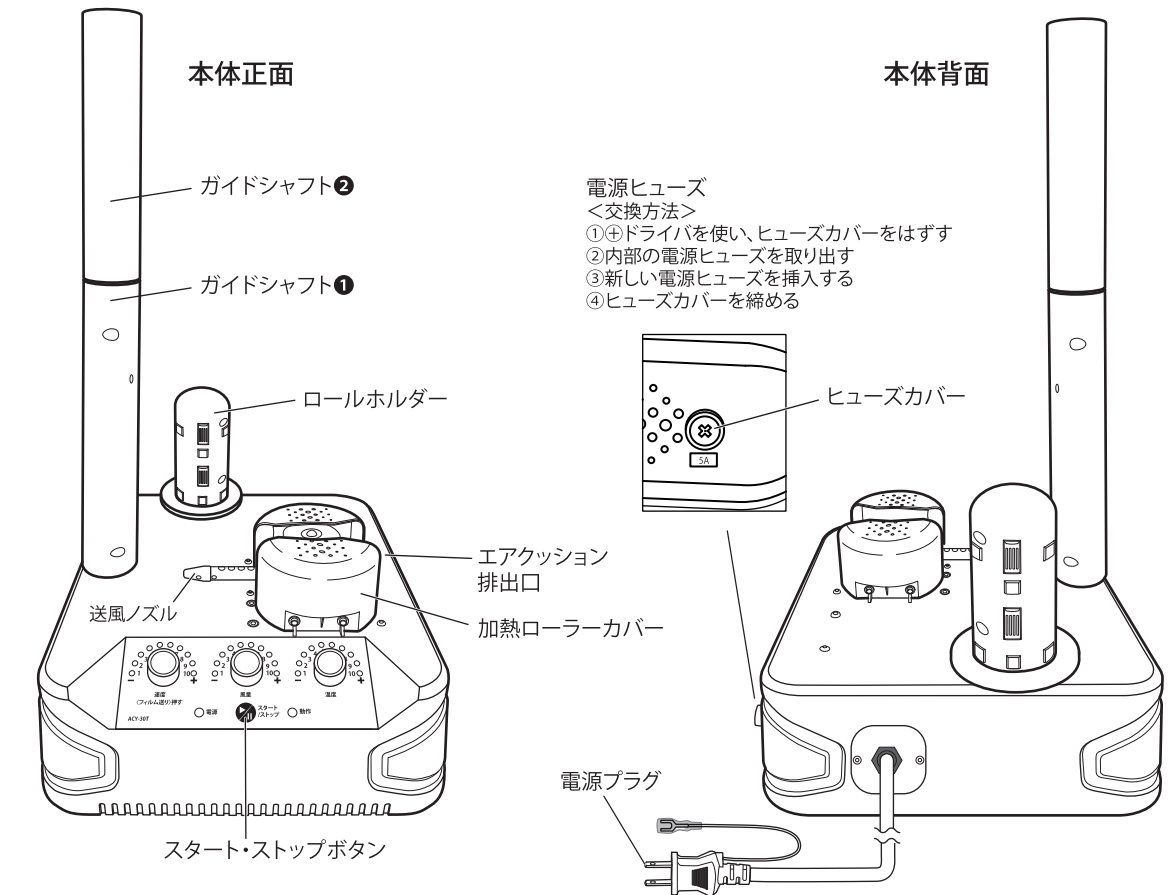
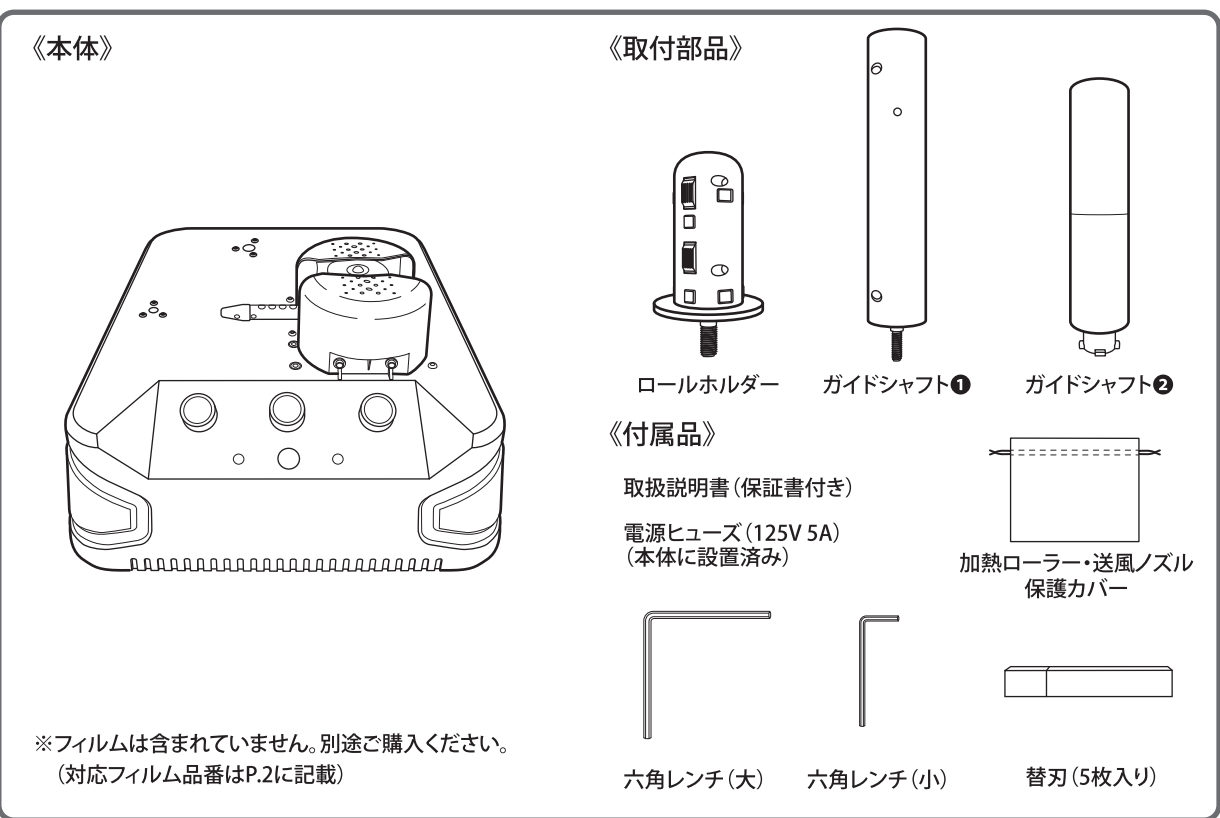


⚠ 注意			
 禁止	熱器具に近づけない ・製品の近くにストーブなどを置かないでください。 変形・ショート・火災・感電の原因となります。	 禁止	落としたり、衝撃を与えない ・故障の原因となります。
	タコ足配線をしない ・感電・火災の原因となります。		エアクッション製作以外の目的で使用しない ・故障の原因となります。
	専用のフィルム以外は使用しない ・ショート・感電・火災・事故・故障・けがの原因となります。		お手入れの時、シンナー・ベンジン・ガソリン・クレンザー等を使用しない ・変色・変形・傷の原因となります。
	フィルムが挟まった状態で、電源を入れたまま放置しない ・火災の原因となります。		電源コードを束ねたまま使用しない ・故障・火災の原因となります。
	不安定なところに置かない ・落下・故障・けがの原因となります。		無風での長時間運転や機械の長時間使用はしない ・故障の原因や、エアクッションの品質低下につながります。
 指示に従う	直射日光が当たる場所に置かない ・変色・変形・故障の原因となります。	 プラグを抜く	移動させる時は電源プラグを必ず抜く ・ショート・感電・火災の原因となります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む ・感電・火災の原因となります。		電源プラグを抜く時は、コードを引っ張らずにプラグを持って抜く ・ショート・感電・火災の原因となります。
			長時間使用しない時は、必ず電源プラグを抜く ・事故・感電・火災の原因となります。

■仕 様

製 品 名	エアクッションメーカー
型 名	ACY-30T
サ イ ズ	本体 : W275 x D300 x H155mm 最大(ガイドシャフト②取付時) : W275 x D300 x H510mm
電 源 コ ー ド 長	約 1.8m
質 量	本体 : 約 4.5kg (電源コード含む)
ウォームアップ時間	約 1 分
定 格 電 圧 / 周 波 数	AC100V / 50/60Hz
消 費 電 力	100W
安 全 装 置	過熱防止 (連続使用時間 2 時間自動オフ) / 電源ヒューズ (125V 5A ガラス管ヒューズ)
温 度 条 件	約 0~40℃
加 熱 ロ ー ラ ー 温 度	約 120~130℃
専 用 フ ィ ル ム 品 番	・ピロー CP-2050 ・バブル CB-4030 ・フォーフィルム CC4-4030 ・ツーフィルム CC2-4030

■各部の名称



■専用フィルムについて

- 本製品には必ず専用フィルム(別売)をお使いください。
- ・ピロー(型番: CP-2050) ・フォーフィルム(型番: CC4-4030)
- ・バブル(型番: CB-4030) ・ツーフィルム(型番: CC2-4030)

専用フィルムのご購入は

専門フィルムのご購入につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くの山善製品を取り扱っている家電量販店・ホームセンターへお問い合わせください。

故障の原因となるため、以下のフィルムを使用しないでください

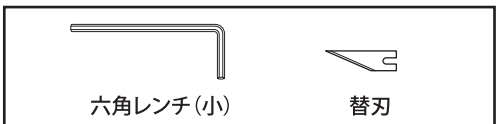


注意

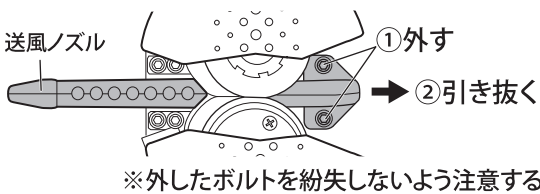
- ・専用フィルム以外を使用しないでください。(保証対象外となります)
- ・適切に保管(室温約0~43℃)されていないフィルムを使用しないでください。
- ・汚れ、破れ、異物があるフィルムを使用しないでください。
- ・使用済みのフィルムを再利用しないでください。
- ・長期間保管されて劣化したフィルムは使用しないでください。

■カッター刃の交換

送風ノズルの根元にある、ノズル穴をカットするカッター刃の切れ味が悪くなると、フィルムが詰まりやすくなる場合があります。そのような時は、付属の替刃に交換してください。

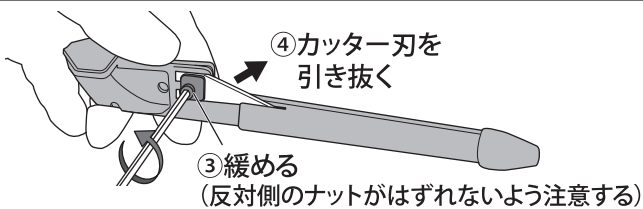


- ①送風ノズルを固定しているボルトを付属の六角レンチ(小)で反時計回りに回して外す。
- ②送風ノズルを上にし少し持ち上げてから矢印の方向に引き抜く。

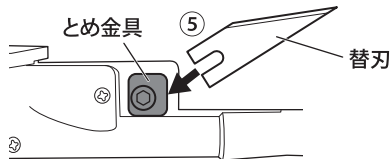


⚠ けが注意 ・交換作業は手袋を着用しておこなう

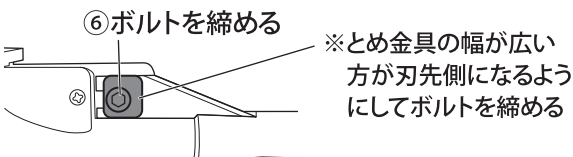
- ③六角レンチ(小)でカッター刃を固定しているボルトを緩める。
- ④刃先に注意して、カッター刃を引き抜く。



- ⑤替刃をとめ金具とノズル本体の間に差し込む。



- ⑥とめ金具の向きに注意して、六角レンチ(小)でボルトを締める。

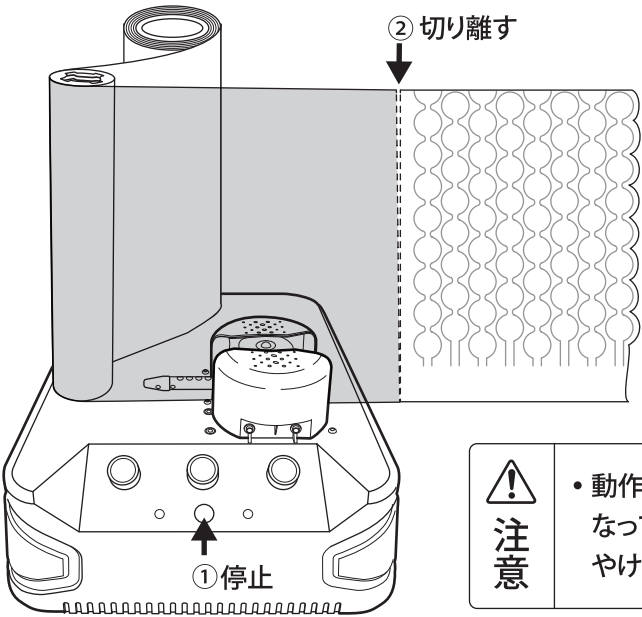


- ⑦①・②と逆の手順で送風ノズルを本体に取り付ける。

5. ストップする



- ①ストップボタンを押すと、空気の排出とローラーの回転が停止し、動作ランプが消灯する。
- ②停止した事を確認し、加熱ローラーの出口側のミシン目でフィルムをカットする。

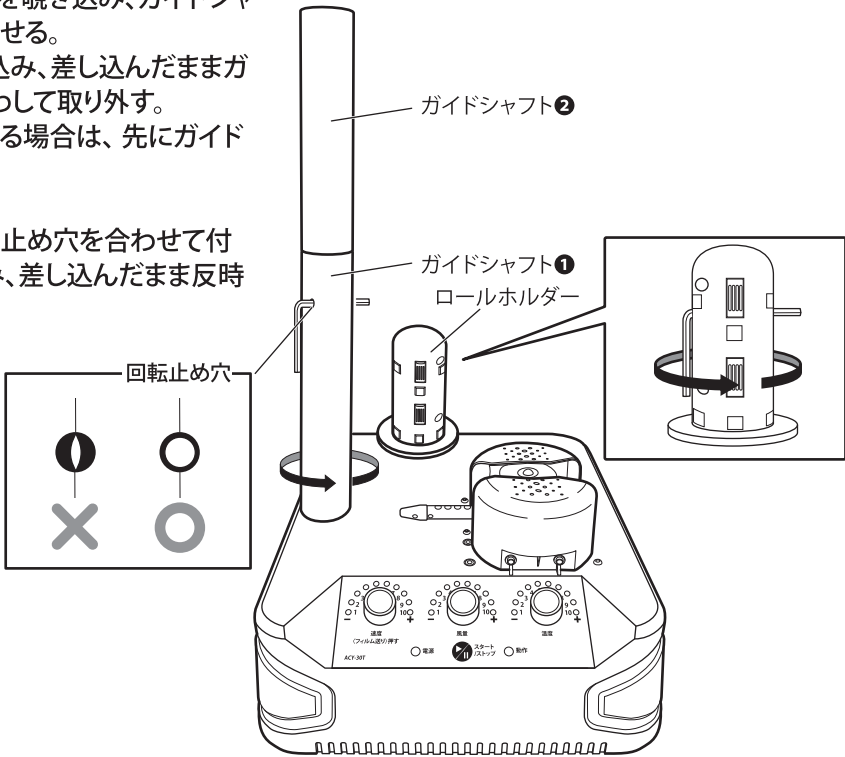


注意

・動作停止直後は加熱ローラー付近が熱くなっているため、触れない。
やけどの原因となります。

■分解方法 ※分解は電源プラグを抜いてからおこなってください。

- ①ガイドシャフト①の回転止め穴を覗き込み、ガイドシャフトを手で回して穴位置を合わせる。
付属の六角レンチ(大)を差し込み、差し込んだままガイドシャフトを反時計回りにまわして取り外す。
(ガイドシャフト②を使用している場合は、先にガイドシャフト①から引き抜く)
- ②ロールホルダーも同様に、回転止め穴を合わせて付属の六角レンチ(大)を差しこみ、差し込んだまま反時計回りにまわして取り外す。



注意

・分解は必ず分解方法に従っておこなってください。取り外しができなくなる場合があります。

・分解後は部品や付属品を紛失しないように注意して保管してください。

■ご使用前の準備

●設置場所について

このような場所には設置しないでください



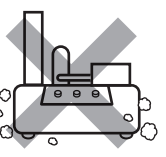
水平ではない場所



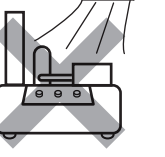
不安定な場所



直射日光が当たる場所
湿気が多い場所



ほこりが多い場所

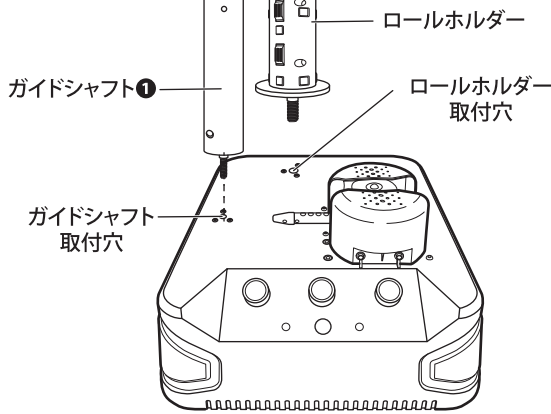


暖房や冷房の風
が当たる場所

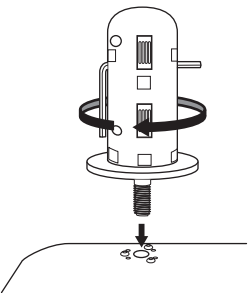
- ・水平で安定した場所に設置してください。
- ・巻き込まれやすい物(カーテンや寝具・衣類など)がない場所に設置してください。
- ・エアクッション排出口の先には十分なスペースを確保してください。排出先に十分なスペースがないと、正常にフィルムが送り出せず、フィルムが詰まって故障や変形の原因となります。

■組立方法

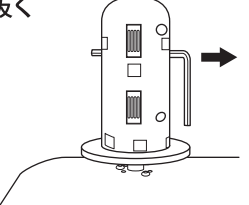
《取付位置》



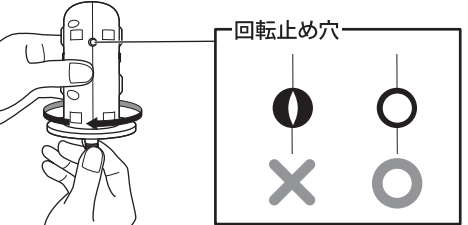
- ③六角レンチを差し込んだまま、ロールホルダーを時計回りに回してネジを取付穴に確実にねじ込む。



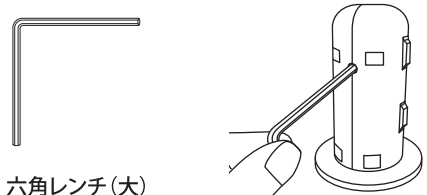
- ④六角レンチを抜く



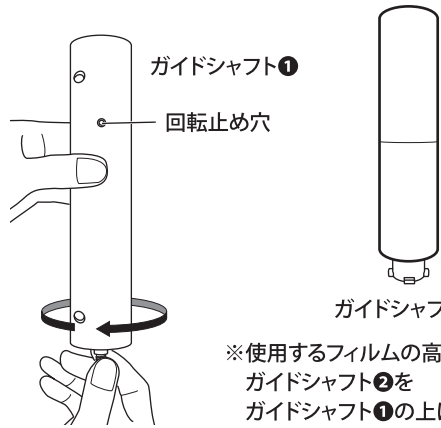
- ①ロールホルダーの軸と水色の部分を別々に持って回転止め穴を覗き込み、穴位置を合わせる。



- ②付属の六角レンチ(大)を回転止め穴に突き抜けるまで差し込む。



- ⑤ガイドシャフト①も同様に本体に取り付ける



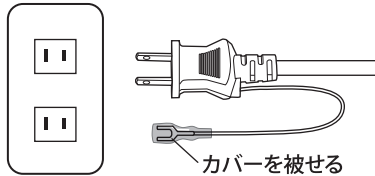
※使用するフィルムの高さに応じてガイドシャフト②をガイドシャフト①の上に差し込む

■使い方

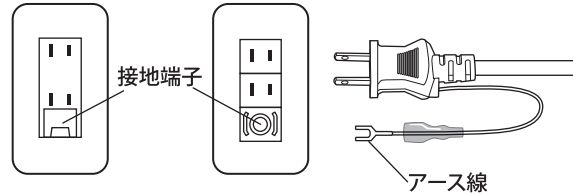
1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- 100V の家庭用コンセントでご使用ください。
- タコ足配線はしないでください。
- 接地端子があるコンセントはアース線を接続してご使用ください。

●接地端子がないコンセント

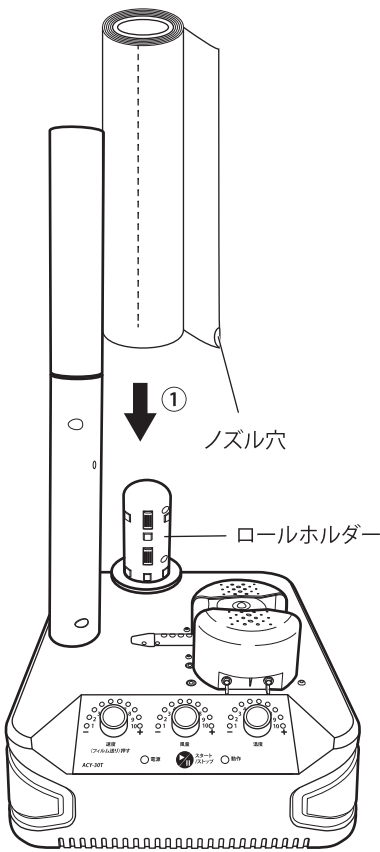


●接地端子があるコンセント

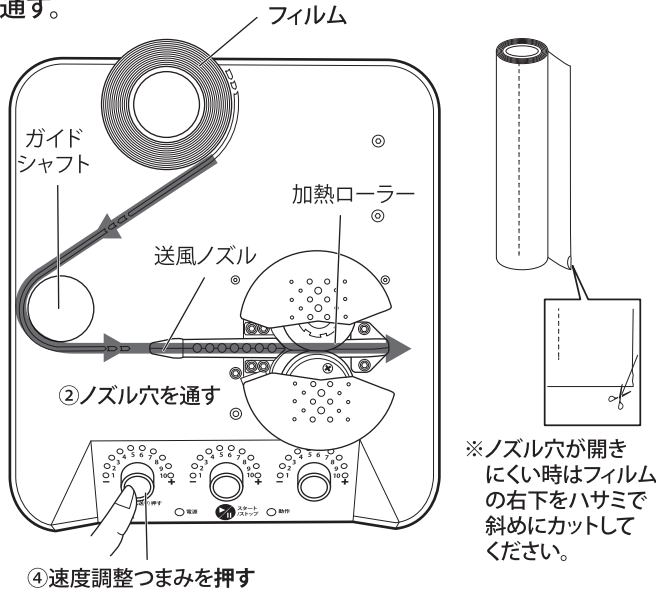


2. フィルムをセットする

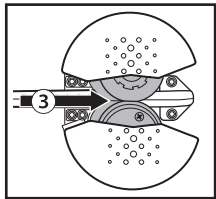
① 製作するフィルムの下部にノズル穴があることを確認し、ロールホルダーにセットする。



② 矢印に従って、フィルムをガイドシャフトの外側から引っ張り、フィルムのノズル穴を送風ノズルの先に通す。



③ フィルムの先端を加熱ローラーの間(矢印の位置)に挟み込む。



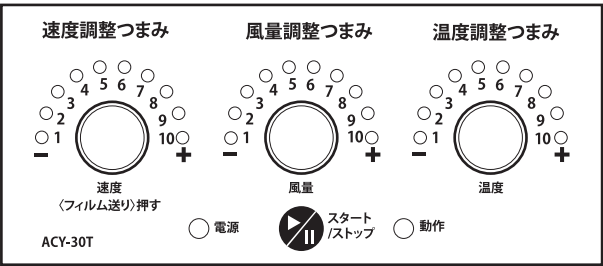
④ 速度調整つまみを押してフィルムを送り、先端を加熱ローラーの約 2cm 先まで通す。



- フィルムをセットする時にフィルムとロールホルダーや本体との隙間で手を挟まないようにご注意ください。
- 速度調整つまみを押している間はフィルムを送り続けます。

3. つまみを調整する

① 調整つまみを回して適切な値に調整する。
各フィルムの推奨設定値(下表)を参考に設定する。



■推奨設定値

フィルム 型番	ピロー CP-2050	バブル CB-4030	フォーフィルム CC4-4030	ツーフィルム CC2-4030
速 度	10	10	10	8
風 量	1～2	10	10	8
温 度	4～6	4～6	4～6	4～6
形 状				



- 使用時の環境(温度や湿度)により仕上がりが異なることがあります。推奨設定を参考に、各つまみを回して調整してください。
- フィルムの推奨設定値を大きく外れると、エアクションの製作不良やエアクションメーカーの故障につながるおそれがあります。

4. スタートする



スタート/ストップ



- ① スタートボタンを押すと、動作ランプが赤点滅し、ウォームアップを開始する。
ウォームアップ(約1分間)が終わるとスタート音が鳴り、自動で加熱ローラーが回転してエアクション作成を開始する。(動作ランプ赤点灯)
- ② フィルムに空気が送り込まれ、エアクションが正常に作られている事を確認する。
- ③ お好みのエアクションになるように調整する。各つまみの調整は少しずつおこない、推奨設定値を大きく外れないようにする。
- ④ エアクションが正常に作られない時は「トラブルシューティング(P.9)」を参照する。



作りはじめは 2 ～ 3 枚でストップしてエアクションの状態を確認する

空気が足りない時	風量調整つまみを⊕方向へまわす
空気が多すぎる時	風量調整つまみを⊖方向へまわす
フィルムから空気が漏れている	温度調整つまみを⊕方向へまわす
接着部分が溶けすぎて穴が開く	温度調整つまみを⊖方向へまわす
フィルムが正常に送られない	フィルムが詰まった時はストップボタンを押す 速度調整つまみを⊖方向へまわす フィルムに空気が入りすぎて詰まる時は風量調整を⊖方向へまわす